

(2) 算 数

領域・小問ごとの分析	対 策 の 視 点
<p>① 数と計算</p> <p>1 整数・小数・分数の計算</p> <p>(1) 4位数+4位数の計算 正答率は88%で、誤答の中では、1241のように繰り上がりの計算処理の誤りが見られる。</p> <p>(2) 5位数-5位数の計算 正答率は77%である。誤答の中では、連続して3回繰り下がることを計算過程の中で忘れてしまったための13889のような誤りが目立つ。</p> <p>(3) 3位数×2位数の計算 正答率は68%である。誤答では、7312のように計算手順を理解していないものや、4377のように各位の乗数をかけて出た部分積の加え方に誤りが目立つ。</p> <p>(4) 空位のある3位数÷1位数の計算 正答率は84%である。誤答は21あまり1のように商に空位があるためのものや、201あまり7のように除数より余りが大きいという誤りが目立つ。</p> <p>(5) 繰り上がりのある帯小数の加法 正答率は79%である。誤答の中では、11.3のように小数から整数への繰り上がりや、123のように小数点の打ち忘れのような単純な誤りが見られる。</p> <p>(6) 小数+整数の計算 正答率は55%で、誤答のほとんどは</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計算原理の理解不十分な場合は、2年の筆算にもどって、かぞえ棒などによる操作を通して、繰り上がりや繰り下がりの原理を確実に理解させる必要がある。 繰り上がりや繰り下がりの回数が多いためつい忘れてしまうような場合には、その都度小さい数字で添え書きさせるなどして、間違えない方法を工夫しながら指導していきたい。</li> <li>○ 計算方法を理解していない場合には、2位数×1位数にもどって徹底的に治療する必要があると思われる。</li> <li>○ 部分積の十の位の数を忘れる場合は、その都度小さい数字で添え書きさせたり、確かめを習慣化するなどの方法を工夫しながら指導していきたい。</li> <li>○ 商の空位をつめてしまう場合には、ノートは方眼上で1ますに一つの数字が書けるものを使用させたり、概算で商の見当をつけさせたりすることも大切であろう。また誤答のまま安心している児童も多いので検算をする習慣もつけさせたい。</li> <li>○ 小数の概念形成が十分でないための誤りと考えられるので、1を等分割することによってできた単位を理解させて、その表示の約束を明確にさせ、その一つ分、二つ分・・・と数えられるようにさせておきたい。それには線分図などを用い、視覚的にとらえさせるのもよいであろう。</li> <li>○ 末位をそろえての筆算形式を学習しているので混乱していると考えられる。計算問題に</li> </ul>